

大草谷津田いきものの里

アカガエルの卵はあるかな？

中田真也子（千葉市）

日時：2024年2月18日10時30分—12時

参加者：23名（大人11名、子ども12名）

指導員：小川、川北、中田（岡田、木下、山下）

晴天で2月の割には気温も高く過ごしやすい天候での観察会となりました。

今回は子ども達にルーペとA6の画用紙と鉛筆を配り、最初にルーペの使い方の説明をしてから出発しました。まずアカガエルの卵塊のある田んぼまで移動。産みたての卵を観察しました。その後、あらかじめ指導員が採取しておいた卵塊をみてもらいました。子どもたちは触ったりルーペでみたり、歓声をあげて喜んでいました。絵を描いている子もいました。全員卵をじっくり見終わったら紙芝居とクイズで、大草にいる4種類のカエルの生き方や鳴き方について参加者に楽しく解説しました。

その後は自由時間。各ご家族で自由に田んぼの畦を歩き回り、オタマジャクシになりかけた卵や死んでしまった親ガエルなど様々な発見をしてくれました。

帰りは、ニワトコの立派な冬芽とにっこり顔の葉痕、オオカマキリの卵も観察しました。大人も子どももスポンまでドロドロにしている人がいましたが、子ども達に感想を聞くと目をきらきらしながら「面白かった！！」とのこと。大人の参加者から「こんな素敵な場所が近くにあるなんて驚きです。また来たいです。」という声が多くありました。

↓紙芝居



↓アカガエルの卵の絵を描く子ども達



孵化しかけの卵



↓たくさんあった卵塊



↓卵塊をじっくり観察



↓自由時間ではたくさんの発見が

